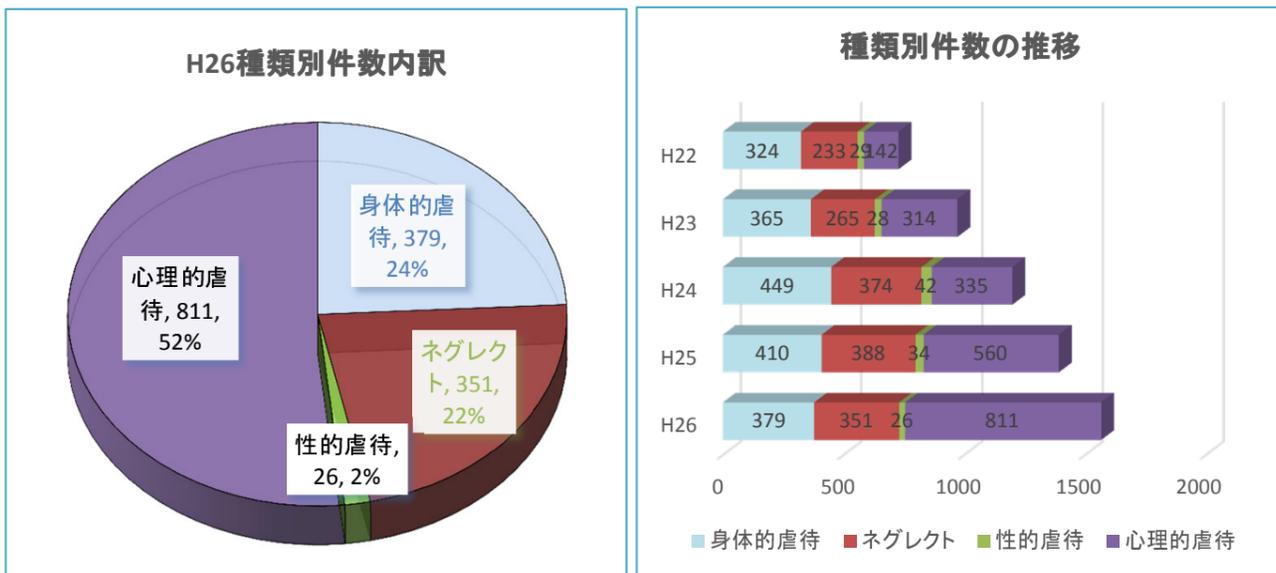
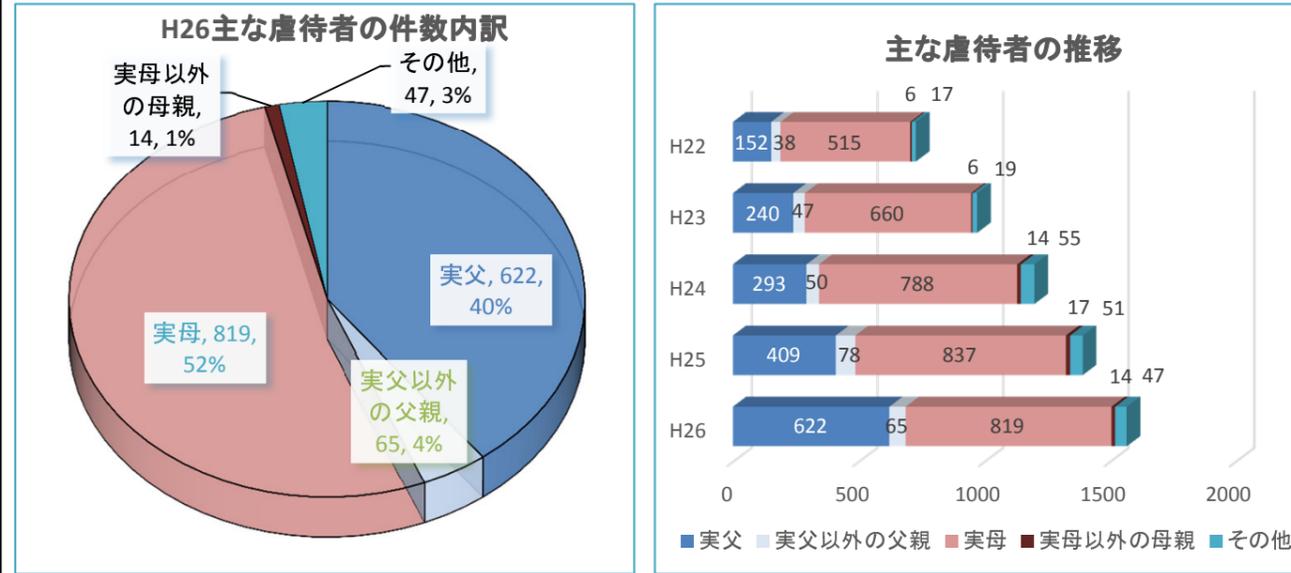


虐待の種類



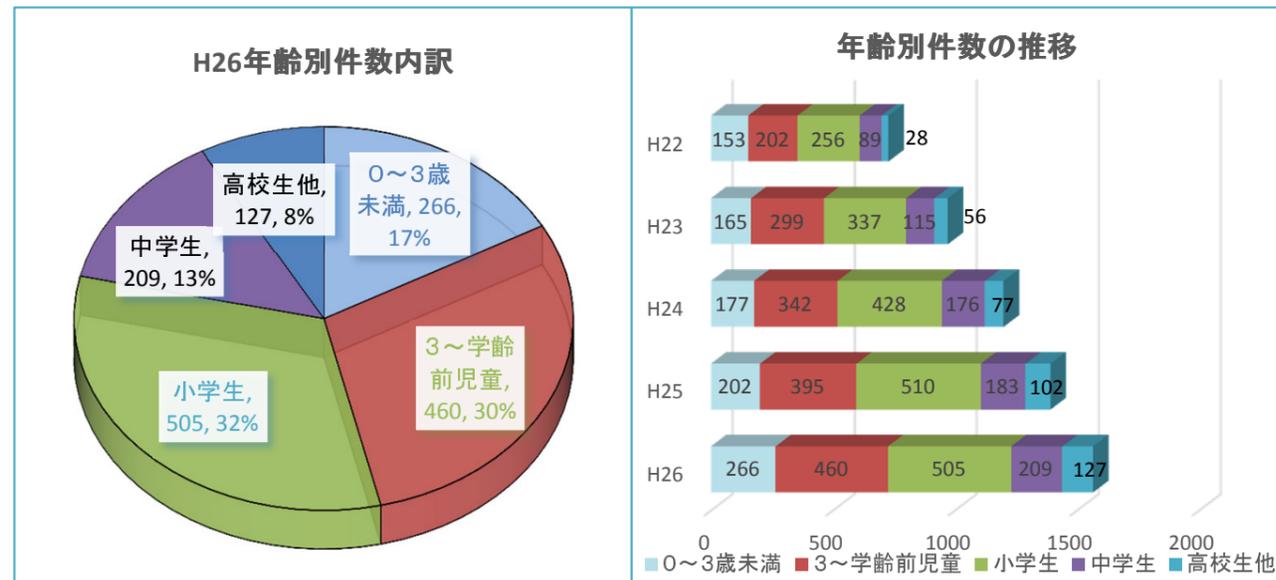
「心理的虐待」が最も多く、次いで「身体的虐待」「ネグレクト」の順に多い。「心理的虐待」は前年度比251件増（44.8%増）と前年度に引き続き大きな増加率を示しており、H23年度から増加傾向にある。

主な虐待者



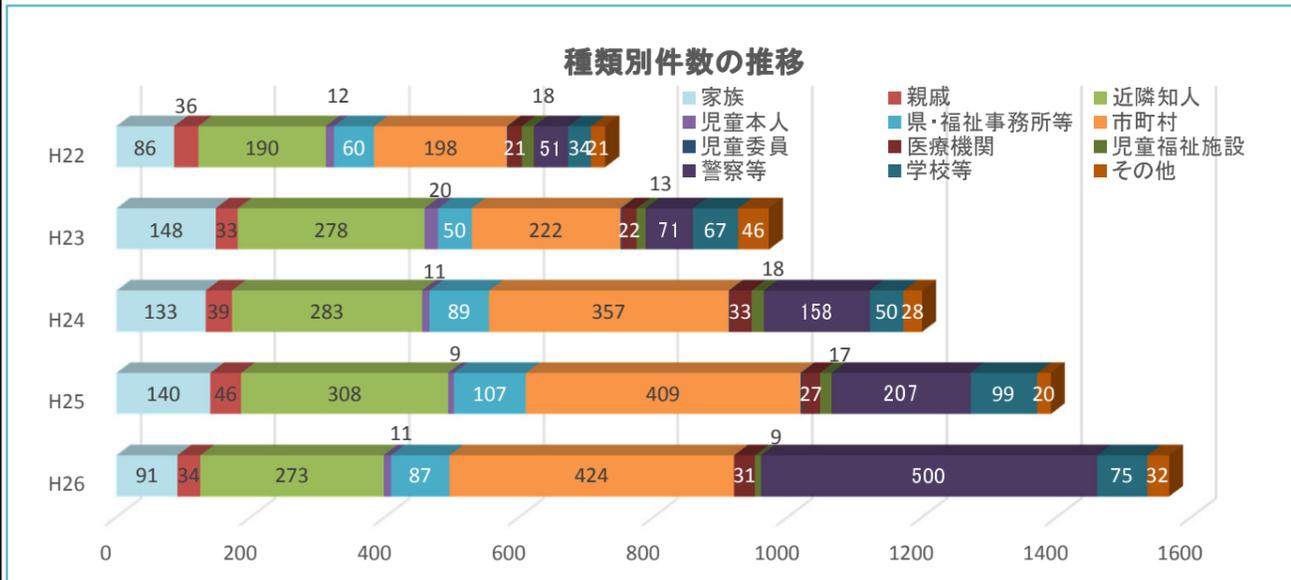
「実母」が全体の半数を占め、「実父」と合わせた「実親」の割合が、全体の9割を占めている。「実父」以外による虐待は減少もしくは横ばいの傾向にあるが、「実父」による虐待の増加が著しく、前年度と比べて213件増（52.1%増）である。

被虐待児の年齢



全体の47%が就学前の児童である。前年度と比べ「0～3歳未満」「高校生他」の増加が目立ち、特に「0～3歳未満」の児童は64件増（31.7%増）である。

虐待通告の経路



関係機関からの通告では「警察等」及び「市町村」が多く、関係機関以外では「近隣知人」による通告が多い。「警察等」からの通告件数は前年度と比べて293件増（141.5%増）と大幅に増加し、これまで最も件数の多かった「市町村」を逆転している。